

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	稀な組織型を示す乳腺腫瘍の遺伝子変異解析研究
	研究目的	顕微鏡を使った病理検査で、稀な形を示す（形を組織型、といいます）乳がんは、一般的にみられる乳管癌と違って、その悪性度や至適な治療法などの重要な情報が良くわかっていません。そこで、この研究では、2007年から2018年4月の間に当センターで手術切除され、病理検査で稀な組織型を示した乳癌の患者さん約20名を対象とし、ホルマリン固定しパラフィンに包埋して病理検査に使った検体の余りからDNAを抽出して、乳がん細胞に起こった遺伝子異常を詳細に検討して、その発生要因や治療、治療法の開発に有用な情報を発見することを目的として実施します。
	研究期間	西暦 2018年5月18日～西暦 2022年3月31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	臨床研究所がん分子病態学部 宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	病理診断科、乳腺内分泌外科、臨床研究所がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	東京大学医科学研究所・DNA情報解析分野 教授 宮野 悟